

重要事項:取り付け前に必ず読むこと

- A.** シェードと物(窓枠、金具、クランクハンドル、ロックレバー、カーテンなど)の間に十分な間隔を空けて取り付けること。
B. 安全のため、本製品は2人で設置すること。
C. シェード(該当する場合はポケット)は、ブロック材などの適切な構造物に取り付けること。各シェードブラケットが181.4kgを支持できるように、取付面に適した留め具の選定および取付を取付業者の責任で行うこと。

注意:身体機能、感覚機能、認知機能に障害がある、または低下している方(お子様を含む)、あるいは本製品の使用経験や知識が十分ではない方は、安全に責任を負う方による監視または本製品の操作方法の指導を受けない限り、本製品を使用しないでください。本製品を使ってお子様が遊ばないように注意してください。

はじめに

本書はルートロン製パラディウムシェードの設置についてルートロンからトレーニングを受け、必要な装備を備えた取付業者のみを対象としています。以下の手順では、『PALLADIOM Installation Planning and Template Guide』に従って、専用の壁、天井、ジャム設置テンプレートを使用して計画および準備済みの現場での、配線、シェードブラケットの取り付け、本体の取り付け、設定・操作について詳述します。

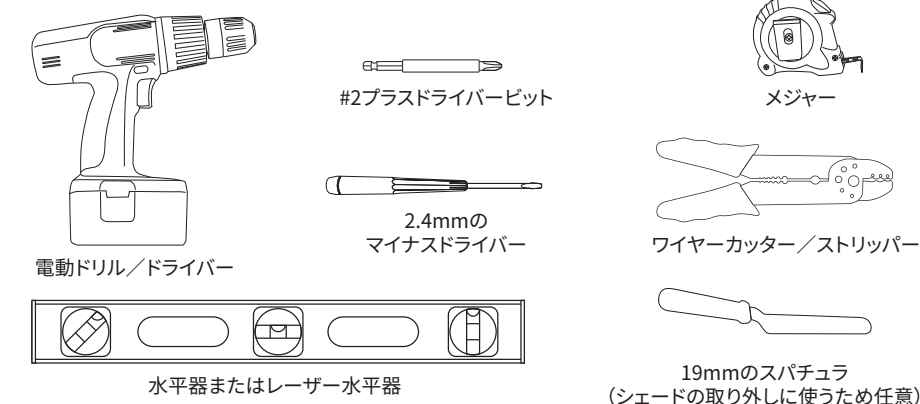
EDU Model: QSSC-EDU-L | 24-36 V=== | 52 W | 10 in-lb (1.12 N・m)



構成部品



必要工具

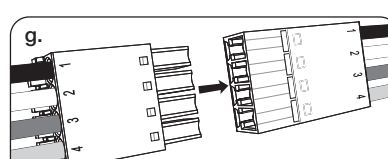
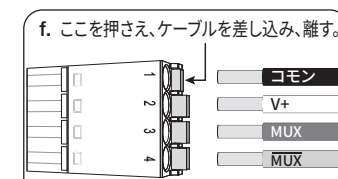
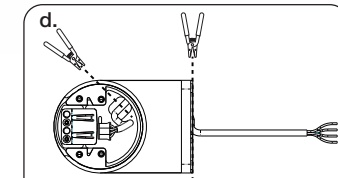
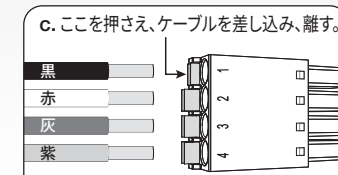
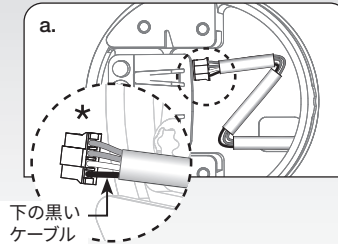


1 シェードの配線

⚠ 警告:感電の危険あり。重傷を負ったりまたは死亡につながる恐れがあります。電源ブレーカーをオフの位置に固定してから、本セクションの手順を行ってください。

シェード用ケーブルハーネス

- a. 図のようにケーブルハーネスをモーター部のブラケットに押し込みます。
*コネクタとケーブルの向きが正しいことを確認してください。ケーブルの色はハーネスによって異なる場合があります。ブラケット固有のケーブルハーネスのラベルを参照してください。
b. ケーブルハーネスのもう一方側で、ケーブルの被覆を25mm剥き、各導体の絶縁体を6mm剥きます。
c. オスのターミナルブロックを差し込み、4つの導体を右図の通りの色と番号で配置します。
d. 配線を必要としないブラケット(アイドラー側ブラケット)の場合、図に示すようにハーネスの2箇所を切り落とします。ブラケット側面の溝にはめ込まれている配線済みのケーブル部分は、そのままの状態にしておきます。



電源ケーブル

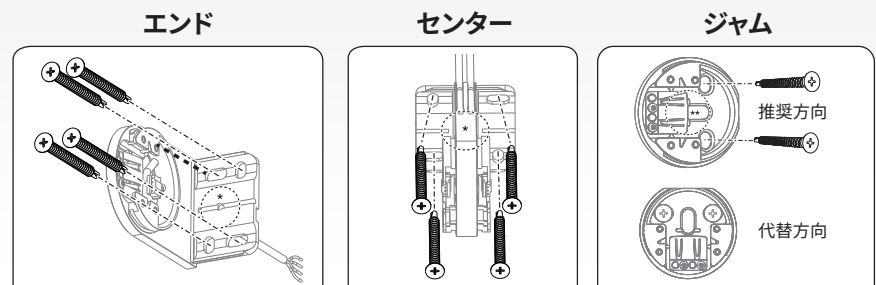
- e. 電源ケーブルの外側の被覆を25mm剥き、各導体の絶縁体を6mm剥きます。
f. 右側の図に従って4つの導体を配置し、メスのターミナルブロックを取り付けます。
g. シェードのケーブルハーネスと電源ケーブルを接続します。
h. コネクタと余分なケーブルを配線カバーに押し込みます。

2 シェードブラケットの取り付け

⚠ 危険:落下の危険あり。シェードの取り付け手順をすべて読み、本取り付けガイドに従って施工してください。正しい手順に従っていない場合、大ケガの原因になることがあります。

テンプレートの手順でつけた印または事前にドリルで穴を開けた下穴にブラケットを合わせ、付属の取り付けビスなど取り付け面に適した他の留め具を使用して固定します。

注記:エンドブラケットおよびセンターブラケットの場合、配線済みのケーブルハーネスを上向き(壁面取り付け)または背面を壁または窓(天井取り付け)に向けて取り付ける必要があります。すべてのブラケットの取り付け穴は、調整できるように細長くしてあります。ブラケットが水平かつ位置合わせされていること(必要に応じてスペーサーを追加)と、ブラケット同士の距離が正しいことを確認してから、取り付けビスを締め付けます。(位置決め、光漏れ、最終調整の詳細については、2ページのセクション をご参照ください。)

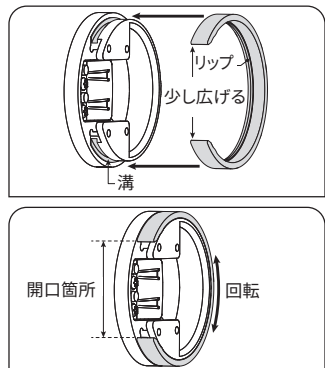


* 配線カバーを隠す場合、ブラケット脚部の中心は、取り付けビスと干渉しない状態で、カバー開口部の中心に対して3mm以内に収まる位置にする必要があります。

** 配線カバーを隠す場合、カバー開口部は、取り付けビスと干渉しない状態で、ジャムブラケットのケーブル開口部と位置を合わせる必要があります。

仕上げリングの取り付け

- a. 仕上げリングを図のように配置し、ブラケットとシェードの接合部周りに合うように少し広げます。
仕上げリングを適切に取り付けると、リップがブラケットの溝に収まり、リングを回せる状態になります。
b. 仕上げリングを回して、図に示すように、開口箇所をブラケットとシェードの接合部の開口箇所に合わせます。
c. 手順aと手順bの要領で、残りの各ブラケットに仕上げリングを取り付けます。



お手入れとメンテナンス

認定取付業者が製品を正しく設置した後は、機械部分のメンテナンスは必要ありません。調整または修理が必要な場合は、製品の販売元にご連絡ください。あらゆる調整および修理は有資格者が実施する必要があります。羽ばたき、柔らかいブラシが付属している掃除機を使用して、生地のココリをその場で定期的に取り除いてください。生地のお手入れの詳細については、www.lutronfabrics.comをご参照ください。

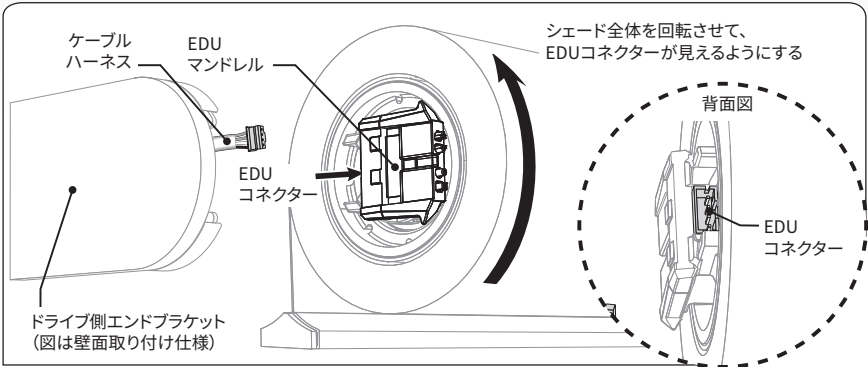
3

シェードの取り付け

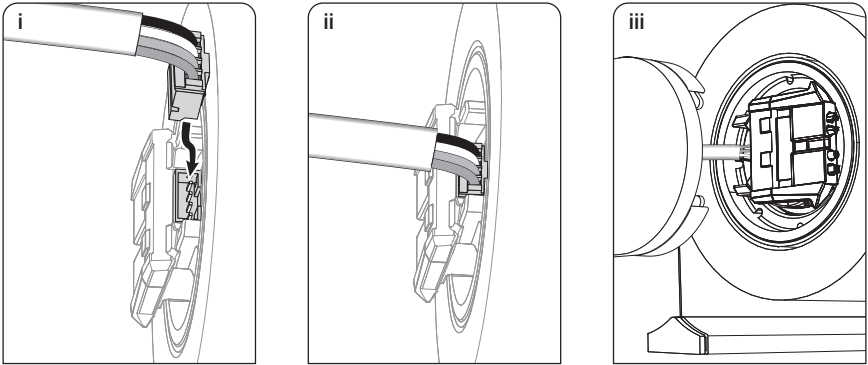
重要:本セクションの手順は、シェードの両端をそれぞれ1人ずつで支える必要があるため、2人で行ってください。手が届かない場所にブラケットが取り付けられている場合は、脚立も2台必要になります。作業を続ける前に全員ですべての手順を確認することをお勧めします。

ケーブルハーネスをドライブユニット(EDU)に接続する

- a. シェードのモーター部をブラケットの近くに配置し、シェードを手前に回転させて、駆動部マンドレルの背面にEDUコネクタが見えるようにします。

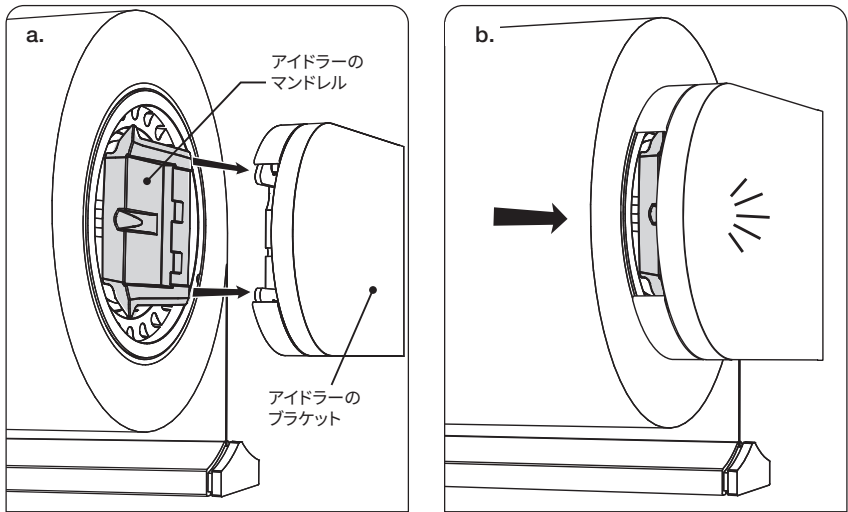


- b. (i) ケーブルハーネス(セクション 1 で取り付け済み)をEDUコネクタに接続し、(ii)完全に挿入されていることを確認してから、(iii)シェードを回転させて図の状態に戻します。



取り付けブラケットにシェードを掛ける(アイドラー側から)

- a. シェードの両端をブラケットの位置に合わせたまま、図のようにアイドラー*のマンドレルをブラケットとシェードの取り付け開口部に向けて差し込みます。
b. カチッと音がするまでマンドレルをブラケットに押し込みます。
c. シェードのドライブ側で手順aとbを実施します。
d. シェードの両端を押し込んで固定したら、シェードを後ろに引いて、両方のブラケットにしっかりとまっていることを確認します。



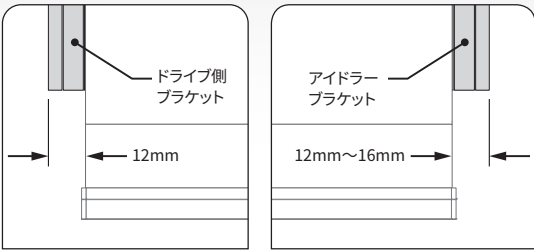
*注意:アイドラーはばね式で、取り付け誤差は3mmです。ブラケット間の距離が正しいと、アイドラーは完全に押し込まれた状態になります。アイドラーの押し込みが少ないと、ブラケット間の距離が長くなり、シェードのアイドラー側の光漏れが大きくなります。詳細については、セクション 5 をご参照ください。

5

最終調整

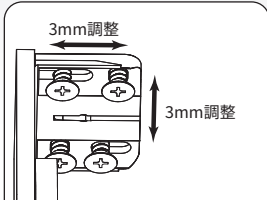
光漏れについて

光漏れは、ブラケット間の距離が正しい場合、両方とも12mmになります。セクション 3 に記載のように、スプリング式アイドラーを伸ばすことで、シェードのアイドラー側の光漏れを最大3mmにできます。

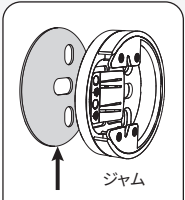


ブラケットの位置の調整

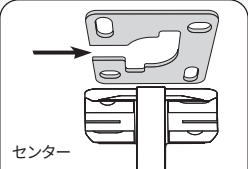
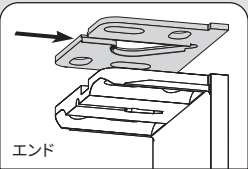
光漏れが等しくない場合、または巻きずれが見られる場合は、シェードを取り外し、取り付けブラケットの位置が正しくなるように調整します。可動シェードがブラケットのどの部分にも当たらないことを確認します。



ビスを緩めるか外し、調整して再度締めます(図はエンドブラケット)。



スペーサーを1~2枚取り付けます(1枚で1.6mm追加)。スペーサーを3枚以上使用すると、ブラケットの外観に影響を与えます。

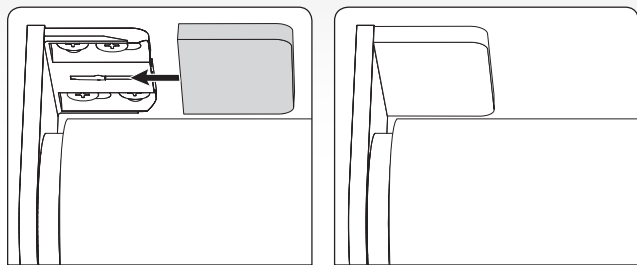


6

カバーの取り付け

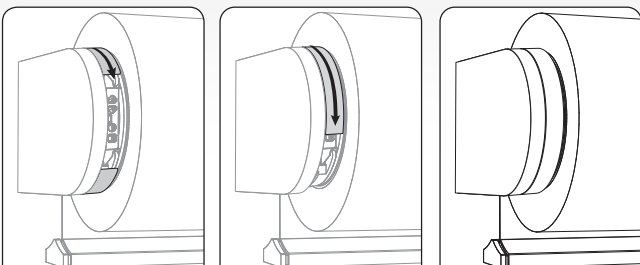
ブラケットカバーを取り付ける(エンドおよびセンターのみ)

図のようにブラケットカバーを取り付け面に配置し、ブラケット脚部の上にスライドさせて留め具のヘッドを隠します。残りのブラケットも同様にカバーを取り付けます。



仕上げリングを回転させる

各ブラケットの仕上げリングを回して、ブラケットとシェードの取り付けの開口部を隠します。リングに備わっている戻り止めで、リングが特定の位置に固定され、取り付けの開口部を完全に隠せます。



4

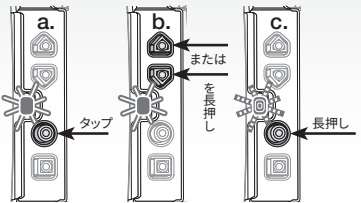
電源および上下限の設定

電源:電源ブレーカーをオンにして通電し、シェードに電源を入れます。電源を入れると、シェードのLEDランプが各色順番に点滅します。詳細はLED信号の完全ガイド、www.lutron.com/TechnicalDocumentLibrary/Sivoia_QS_Shades.htmlをご参照ください。

上下限:オープン/クローズ(上下限)のデフォルト値は注文時に入力された窓のサイズを基に出荷時に設定されています。調整が必要な場合は、以下の手順に従って新しい上下限を設定してください。

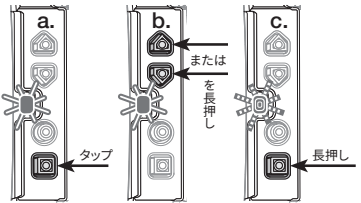
上限設定

- a. 丸いボタンをタップします。緑色のLEDが点灯します。
b. 矢印ボタンを使用して、シェードが希望する上限位置になるまで長押しします。
c. 緑色のLEDが点滅するまで、丸いボタンを長押しします。上限位置が設定・保存されます。



下限設定

- a. 四角いボタンをタップします。緑色のLEDが点灯します。
b. 矢印ボタンを使用して、シェードが希望する下限位置になるまで長押しします。
c. 緑色のLEDが点滅するまで、四角いボタンを長押しします。下限位置が設定・保存されます。



動作の確認

上下限の設定後、シェードを上下に数回動かし、動作がスムーズで引っ掛かりがなく、まっすぐ巻き上げられることを確認します。

? シェードの取り外し方

調整やその他の理由でシェードを取り外す必要が生じた場合は、図のようにスパチュラやマイナスドライバーを使用します。

- a. マンドレルとブラケットの間にツールを挿入します。
b. ツールの持ち手をシェードの中央に向けて押して、リテーニングスプリング(ブラケット内)を脇に押し込みます。
c. シェードを外した状態で、ツールを引き出し、次にシェードを引き出します。
d. シェードのもう片方で手順a、b、cを実施します。

